

林業福島

No. 562

題字 福島県知事 佐藤雄平

Fight!
Fukushima! がんばろう
ふくしま!



6

2011

かんしゅう■福島県農林水産部
表紙の写真■間伐材の運搬



東日本大震災の 復興にむけて

福島県森林組合連合会
代表理事会長 國井 常夫

このたびの東日本大震災により亡くなられた皆様のご冥福を衷心からお祈り申し上げますとともに、被害を受けられました皆様に心よりお見舞い申し上げます。さらに、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故が重なり、いまだに多くの県民の方々が、避難所での不自由な生活を余儀なくされておりますことに心を痛めております。特に、震災から二ヶ月あまり過ぎてから、新たに避難生活をしなければならぬ方々がいらつしやることに憤りを感じており、一日も早く原発事故が収束することを願わずにはられません。

今回の大震災では森林組合においても、津波で亡くなられた職員や、いまだに家族が行方不明の方もおいでになる相馬地方森林組合をはじめ、原発事故で警戒区域内にある双葉地方森林組合が、田村森林組合に移転したほか、計画的避難区域にある飯舘村森林組合も移転を余儀なくされているなど、大きな被害を受けました。

このような状況の中で、四月中旬に県下の森林組合長会議を開催し、一致団結して応急仮設住宅建設等に必要な木材の供給をはじめ、今後の復興のために欠かすことのできない木材を安定供給するための体制づくりや、職を失われた方々や農業での収入が減少された方々に、雇用の場を提供していくことなどを決定したところです。

特に、木材を安定的に供給するために、全ての森林組合が施業集約化に全力で取組むとともに、林内の作業道等の路網を整備して低コスト木材生産に努め、森林所有者の方々に利益を還元していく考えですので、この場をお借りして森林所有者の皆様方にご理解とご協力をお願い申し上げます。

また、雇用の場を確保するためには継続的に仕事量を確保することが重要なことから、国や県に対して要望活動も行っております。

今回の大震災は、過去に経験したことのない大災害であるだけでなく、福島県の場合は原発事故も加わって、復興へは多くの困難を乗り越えて行かなければならないかもしれません。しかし、私たち森林組合は今回の大震災を跳ね返し、緑豊かな福島県の復興にむけて、県民の皆様と一緒に歩んでいく覚悟です。共にがんばりましょう！

「がんばろう ぶくしまー!」

《も く じ》

とびら

東日本大震災の復興にむけて

- 福島県森林組合連合会 代表理事会長 國井 常夫 … 1
- 森林経営計画の策定等にかかる経費を支援します … 2
- 平成23年度福島県組織改正について … 3～4
- 原子力損害賠償について … 5
- 木の施設 … 6

森林文化シリーズ

- 鎮守の森 … 7
- 普及指導員通信 … 8
- 木材市況・ふくしま東西南北 … 9
- 木連だより … 10
- 森連だより … 11
- 林協ニュース … 12
- はなしのひろば … 13

森林経営計画の策定等にかかる経費を支援します

● 県森林計画課

平成二二年一二月に国が策定した

「森林・林業再生プラン」では、一〇年後に木材自給率五〇％とする目標を掲げています。また、三月一日に発生した東日本大震災では県内で一万四、〇〇〇棟を超える住宅が全壊となり、今後、復旧・復興のための資材としての木材の需要が高まることが想定されます。

今後、安定した木材供給を図り、森林・林業再生プランの目標を達成するため、間伐等の森林施業の集約化が急務となっています。

さらに、平成二四年度から、現在の森林施業計画に替わり、より面的なまとまりを持った森林管理の計画として森林経営計画制度がスタートします。

これにより、森林整備事業の補助対象者が、森林経営計画の策定者に限定されるなど、補助事業に取り組む森林組合等の林業事業体は、平成二四年度の森林経営計画制度の開始に向けて、早急に計画策定の準備を

進めていく必要が生じています。

このような中、森林整備地域活動支援交付金の内容が、「施業集約化を進めるための支援」

に大幅に改正されました。対象となる活動は①森林経営計画策定のための情報収集と森林所有者の同意取得や②既存の作業路網の点検及び改良で、これらの活動に要した経費について支援を行うものとなりました。

平成一九年度から始まった当交付金制度は、今年度が最終年度であり、森林経営計画の策定に要する経費の支援は、「今年度限り」となっています。

森林組合等の林業事業体の皆さんは、支援を受けられるこの機会

を逃すことなく当交付金制度を活用し、スムーズな森林経営計画制度へ移行を図ってください。

事業の詳細については、県森林計画課または最寄りの県農林事務所森林業部へお問い合わせください。

集約化への取り組みを支援します

～森林整備地域活動支援交付金～

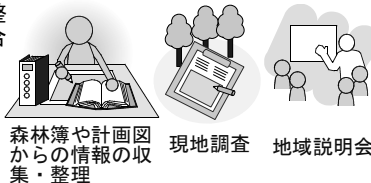
事業メニューの内容

次の①または②の活動にかかった経費について、交付額を上限に交付金が交付されます。

① 森林経営計画作成促進

森林経営計画作成に必要な森林情報の収集・整理、説明会や戸別訪問を通じた計画参画への同意取り付けなどの活動に対して支援します。

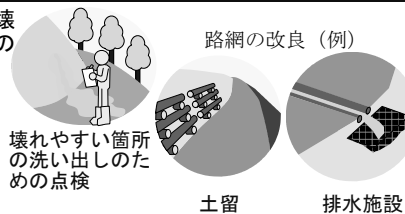
(交付額) 森林経営計画策定への同意が × 上限 8,000円
得られた森林面積
(対象) 森林施業計画が策定されていない森林



② 作業路網の改良活動

施業に使う作業道（路）について、丈夫で壊れにくいものにしていくための点検及びその改良を行う活動に対して支援します。

(交付額) 森林施業計画認定森林内の × 上限 5,000円
育成林の面積
(対象) 森林施業計画が策定されている森林



※点検のみの活動でも支援の対象となります。

手続き方法について

交付金の交付までの流れは次のとおりです。

- ①協定の締結 ①市町村との間で地域活動等について定めた協定を締結します。
- ②活動実施 ②協定に基づき地域活動を行います
(支援の対象となるのは協定締結日以降の活動になります)
- ③活動実施結果の報告 ③活動後、実施状況等に関する報告書を市町村に提出します
- ④交付金の交付 ④市町村が報告書の内容を確認した後、交付金が支払われます

平成二三年度 福島県組織改正について

はじめに

県政の重要課題への的確な対応を図るとともに、各種見直し等の推進により簡素で効率的な行政運営体制を構築するため、平成二三年六月一日付けで組織等の改正が行われました。

この中で、森林林業関係組織についても改正されましたので、その内容を中心にお知らせします。

また、平成二三年三月一日に発生した東日本大震災からの復旧・復興に向けた施策を迅速かつ全庁的に推進するための体制整備が行われませんでしたので、併せてお知らせします。

東日本大震災からの復旧・復興に向けた体制整備

体制整備

- 一、福島県東日本大震災復旧・復興本部の設置（平成二三年五月二〇日設置）
- 東日本大震災からの復旧・復興を全庁一体となって円滑に推進するため、知事を本部長とする「福島県東日本大震災復旧・復興本部」が設置されました。

二、市町村復興支援担当理事の新設
市町村の行政機能復旧など市町村の復興・支援に係る業務を総合的かつ一体的に推進するため、「市町村復興支援担当理事」が新設されました。

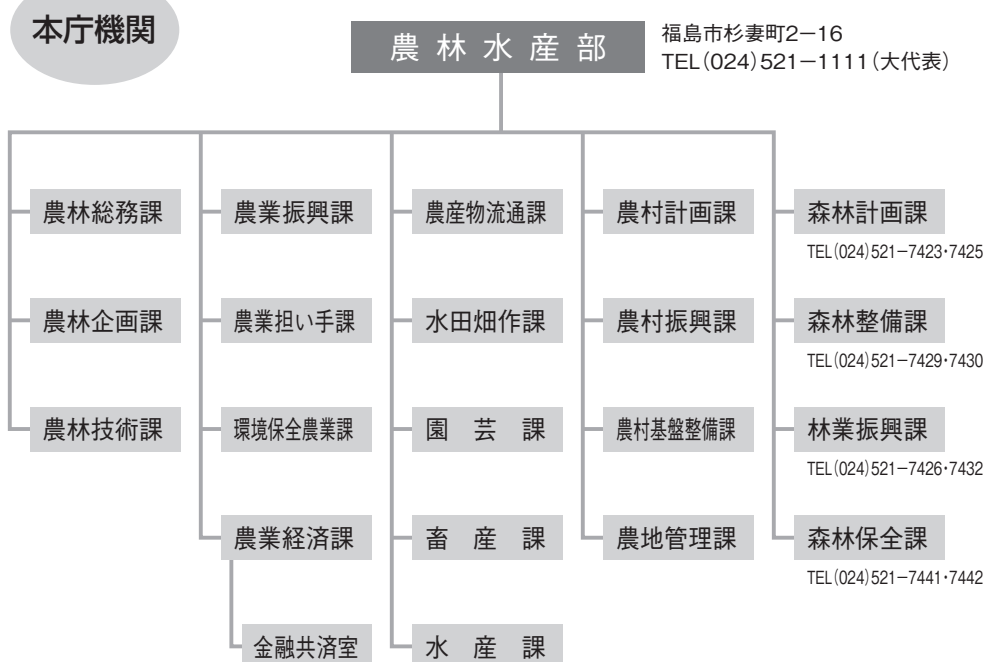
三、原子力損害対策担当理事の新設
原子力損害の迅速かつ十分な賠償対応など原子力損害対策に係る業務を総合的かつ一体的に推進するため、「原子力損害対策担当理事」が新設されました。

森林林業関係
本庁組織の見直し
一、林道整備課を森林整備課に統合

森林林業関係 本庁組織の見直し

- 一、林道整備課を森林整備課に統合

福島県農林水産部行政機構（平成23年4月1日）



林道整備と一体となった森林整備を推進するため、林道整備課が森林整備課に統合されました。

森林整備・木材利用を進めるためには、森林施業の集約化、伐採集材作業の機械化などが必要であり、その基盤となる林道等路網の整備が極めて重要であることから、今回の組織改正により森林整備に向けた施策を一層効率的に推進してまいります。

二、治山対策課を森林保全課に課名を改正

治山対策課は、森林保全課と課名を改正することとなりました。

この森林保全課は、治山対策課の業務に加えて、森林整備課が担当していた山火事防止、森林病害虫防除、緑化推進、森林総合利用等の業務を行うことになりました。

今回の改正により、森林の保護、山地災害の防止、緑化意識の高揚など、森林との共生の基盤となる業務について森林保全課が一体的に担うこととなります。

おわりに

東日本大震災により未曾有の被害を受け、加えて原子力災害が未収束であるという難局にあつて、今回の森林林業関係組織の改正により福島県における森林林業施策を一層効率的に推進し、復旧・復興に向けて県

民の皆様と一丸となって進んで参ります。

森林所有者の皆様におかれましては、林道等路網の被災や林産物等に関する風評被害等により困難な状況が継続しております。一日も早い復興を実現するためには森林林業の役割は重要であり、林業・木材産業の

活性化に大きな期待が寄せられることから、森林施業の集約化等により森林整備への積極的な取り組みをお願いいたします。

また、県民の皆様には、森林林業行政さらには今後の復旧・復興施策に対する絶大なるご支援・ご協力をお願いいたします。

平成23年度福島県農林水産部業務案内

(平成23年6月1日現在)

- ◆ は執務室の階数と大まかな位置を示しています。
なお、平成23年6月1日現在の状況であり、今後変更する場合がありますので、ご了承ください。

(例1) 西③南西 ⇒ 西庁舎3階の南側の西より

- ◆ 電話番号の局番は、(024)です。問い合わせ先が不明な場合は、代表電話(024-521-1111)へお問い合わせください。

◎ 農林水産部 (抄)

課名	電話番号	所轄事務(代表的なもの)
農林総務課 <input type="checkbox"/> 西⑤北西	521-7391	部の人事・予算・経理
農林企画課 <input type="checkbox"/> 西⑤北西	521-7319	部の企画調整・農林水産業振興計画の推進
農林技術課 <input type="checkbox"/> 西⑥南西	521-7400	農林土木工事の設計積算基準管理、技術研修指導
農業振興課 <input type="checkbox"/> 西⑤南中	521-7339	農業改良普及、農業災害対策、農林水産業に関する試験研究、農業技術、農業の普及指導活動の総合的支援
環境保全農業課 <input type="checkbox"/> 西⑤南西	521-7342	環境保全型農業、有機性資源の循環利用、植物防疫、有害鳥獣対策、農林水産物の安全・安心の確保、JAS法
農業経済課 <input type="checkbox"/> 西⑤南中	521-7347	農協指導、農協、漁協・森林組合の検査
農産物流通課 <input type="checkbox"/> 西⑤北東	521-7354	農林水産物の消費・販路の拡大、地産地消、地域産業の6次化
森林計画課 <input type="checkbox"/> 西⑥南中	521-7425	森林計画の樹立及び実行指導、森林環境税を財源とする施策の総合調整
森林整備課 <input type="checkbox"/> 西⑥南中	521-7429	県営林、造林・林業種苗、林道の開設・維持、林業集落の基盤整備、林道の災害復旧、作業道・作業路の整備
林業振興課 <input type="checkbox"/> 西⑥南中	521-7432	林業構造改善、木材の生産流通加工、特用林産物、森林組合の指導、担い手対策、林業普及指導、林業金融
森林保全課 <input type="checkbox"/> 西⑥南中	521-7442	森林の総合利用、森林の保護、森林病害虫の防除、緑化の推進、治山事業、治山施設の災害復旧、保安林、林地開発調整

※農林水産部県民の声担当（農林水産部企画主幹）521-7315

原子力損害賠償について 第2回

賠償問題も、なかなか進まない状況ではありますが、現状についてお知らせいたします。

◎国の動き

(原子力損害賠償紛争審査会)

◎第一次指針(四月二八日)

被害者の迅速な救済を図るため、蓋然性の高いものから損害賠償の指針として提示。対象区域は政府による避難等の指示区域「避難」「屋内退避」「計画的避難」に係る区域で、損害の項目は

- ① 検査費用(人)
 - ② 避難費用
 - ③ 生命・身体的損害
 - ④ 精神的損害
 - ⑤ 営業損害
 - ⑥ 就労不能等に伴う損害
 - ⑦ 検査費用(物)
 - ⑧ 財物価値の喪失又は減少等。
- また、政府等による出荷制限指示等に係る損害。航行危険区域設定に係る損害等についても損害の範囲が示された。
- ◎第二次指針(五月三一日)
- 第一次指針の対象とされなかった損害項目や範囲のうち一部追加提示され、対象とされた損害項目の一部につき具体的な損害額算定方法の考え方を明らかにした。項目としては
- ① 政府による避難等の指示に係る損害
 - ② 政府等による出荷制限指示等に

- ③ 係る損害
 - ③ 政府等による作付け制限指示等に係る損害
 - ④ いわゆる風評被害
- を対象としている。

◎東京電力の動き

- ・四月一五日「避難による損害への仮払補償金の支払」で避難区域、屋内退避区域の方を対象に一世帯あたり一〇〇万円、単身世帯七五万円の支払いを示す。
- ・四月二八日「被害概況のお申し出」補償金受取までの流れ
- ① 被害概況申出書
- ② 記入見本
- ③ を示す。

- ・五月三一日「仮払いの取組」で、農林漁業者に、請求のあった関係団体と調整が完了したので、仮払補償金の支払を開始。
- ・六月一日警戒区域内等の中小企業からの仮払い受付を開始。支払は粗利相当額の二分の一で上限額は二五〇万円。(申請書には確定申告書または、決算書が必要) 必要書類がなくても、避難区域などで営業していたことが分かる書類があれば二〇万円支払う。
- ・六月一日東電は農業団体や食品関連企業との会合後、風評被害の賠償金について、出荷制限被害と同

様に半額を仮払する考えを示す。支払時期については未定。

福島原子力補償相談室

(フリーダイヤル)
〇二〇一〇九二六四〇四
毎日午前九時～午後九時 土日可)

◎県の動き

- ・五月二日関係団体連絡協議会設置原発事故により損害を受けた関係者及び関係自治体の連絡調整を図り、迅速かつ十分な損害賠償の実施を求める。
- *構成団体等 福島県森林組合連合会、福島県農業協同組合中央会、福島県中小企業団体中央会等計二
- ◎団体と福島県、市町村

◎団体の動き

- ◎全国農業協同組合中央会
・四月一八日「JAグループの東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策にかかる進め方」を示し、
- ① 基本的な考え方(補償・賠償の請求先および全体の枠組み)
- ② 損害賠償のすすめ方
- などについて決定。

◎全国商工会連合会

- ・六月一日警戒、避難指示区域内の中小企業者を対象に損害対象の一次仮払いの相談を受ける窓口を設置した。

- ① 一次仮払い補償の内容
- ② 補償対象の中小企業の範囲
- ③ 申請窓口

④ 必要書類

などについての相談を受ける。

(フリーダイヤル)

〇二〇一〇〇八八〇三
毎日午前九時～午後五時 土日可)

仮払補償請求に必要な書類等

中小企業

【個人事業主】

- ① 事業主の住民票
- ② 直近三カ年いずれかの確定申告書及び付属書類
- ③ 避難等指示区域で平成二三年三月一二日時点で事業を営んでいたことを証明する資料

【法人】

- ① 商業・法人登記簿謄本
- ② 直近三カ年いずれかの監査報告等を受けた決算書、又は確定申告書及び付属書類
- ③ 個人事業主と同じ

JAグループ經由の農作物

- ① 「廃棄」及び「不耕作」損害に係る報告書、「市況格差」損害に係る報告書
- ② 作業日誌(栽培日誌・防除日誌で可能、記入洩れは不可)
- ③ 作付け状況及び廃棄等を撮影した写真(L判)
- ④ 農産物を廃棄処分した場合は処分費用の領収書

これらの書類は仮払い請求に限らず、今後の賠償請求交渉には必須の書類となりますので留意願います。

(渡辺卓治)



ふれあいセンターの外観

県では、県や市町村等が整備する公共建築物等の木造化、木質化の推進、公共建築物や公共土木工事等への県産材の利用推進、そのための県産材の安定供給体制の整備促進などに取り組んでいる。

公共建築物は展示効果やシンボル性が高く、多くの人々に木材の良さを理解してもらうことができ、木材利用の推進、普及効果が期待される。今回からそれらを紹介していきたい。



の施設

No.1

南向台ふれあいセンター



木のぬくもりを感じる大ホール

福島市南向台は、福島市街を見下ろす高台にある住宅団地である。

ここに、平成二二年三月、県森林整備加速化・林業再生基金事業により木材を豊富に使用した集会施設ができ上がった。

ふれあいセンターは、なだらかなカーブの大きな屋根にシックな茶色の外壁の平屋建て。述べ床面積は三九九・一二平方メートル、木材使用量は八九・五六立方メートルになる。

使用されている材は、スギをはじめ、カラマツ、ヒノキ、すべて県産材。スギは主に阿武隈川流域の材が供給された。内装にもふんだんに木材が使われている。

玄関を入ると、左側に事務室、会



廊下には集成材の梁



県産材をふんだんに使用

議室、調理室、和室が続いている。右側には書庫、トイレ、収納庫がある。廊下の先には大ホールがある。

廊下の天井には、集成材の梁とトップライトが軽快に並んでいる。

大ホールは一四一・七五平方メートル。窓が大きく採られていて明るく、床、天井、腰板、ドアと木材に囲まれて爽やかな空間になっている。天井にはカラマツの大断面集成材の大きな梁が六本、さらに左右の壁に六本ずつの柱が現れていて圧巻だ。

腰板に使用されているのは、高温ロール加工を施したスギ板。この加工により表面が強化され、木目が強調され、光沢が増すという特色を持つようになる。節も木目も材色もきれいな腰板が各所に見られる。

収納庫の腰板は横に張られていて、違った感じになっている。

一〇畳二間続きの和室は、木の香り漂う安らぎのある佇まいである。

事務室、会議室、書庫もそれぞれ木材に包まれた部屋で、親しみやすく、落ち着いた雰囲気になっている。

ふれあいセンターは、町会の会費や合唱、太極拳など趣味のクラブなどで多くの人々に利用されている。木のぬくもりが感じられるこの施設で、地域活動や住民の交流が一層活発になるものと期待されている。

【データ】南向台ふれあいセンター

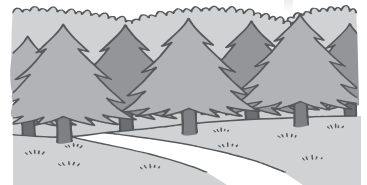
所在地：福島市南向台2丁目35-5 17-18
 構造：木造平屋建て（一部大断面集成材使用）
 鉄板葺き
 建築面積：411.95㎡
 述べ床面積：399.12㎡
 木材使用量：89.56㎡
 使用樹種：スギ、カラマツ、ヒノキ
 工期：平成22年10月5日～平成23年3月15日
 事業費：47,073,600円
 事業主体：福島市南向台自治会

シリーズ

鎮守の森

社団法人 福島県造園建設業協会

事務局長 中嶋 都



私が鎮守の森から思い浮かぶのは、鬱蒼とした木立とその静寂さ、漂う空気の清涼感。その古木の森をすみかにするムササビやフクロウなどの動物、蝉の声、夕方遅くまで一緒に遊んだ遠い日の友達顔、そして祭りの縁日、人生の半ばを過ぎた私の鎮守の森に対するイメージです。

子供をはじめ若い人達は、スタジオオジブリの代表作の一つ」となりの農耕民族の日本人は、豊作そして生活の安定を願い、豊かな森の存在している場所に神を敬い祀り、またはその御座する場所に森を作り、神聖なものとして育んできたのが現在の受け継がれてきた鎮守の森の姿ではないでしょうか。

今でもお宮参りや七五三など、住民の生活や歴史に

深くかかわって、その森の草木一草までに神が宿る神聖な物として大事に扱われてきました。そこが里山と大きな違いではないでしょうか。

鎮守の森は古くからのその地域の植生やそこに共存する動物を含むあらゆる生物を今に残す貴重な存在です。その為に地域により植生が大きく異なります。

本県の場合は、浜通りはシイやカシなどの常緑広葉樹、中通り、会津にかけてはケヤキに代表される落葉広葉樹や、アカマツ、スギなどの針葉樹が多く見られます。

人工的に植林された鎮守の森は、潜在的自然植生（元来その地に自然に生えていた状態）ではありません。その代表格が明治神宮の森ですが、現在の状態は太古の昔からそこに存在しているような景色です。

鎮守の森は信仰の対象として現在まで存在しているわけですが、それ以外にも多くの働きや効果があります。生物多様性が重要視されている現在、身近にあり親しむ事が出来る

エリアです。緑の効能は限りなくあり、特にヒートアイランド現象の中の都市部においては、気温の緩衝効果も有効です。

その中で、特にこの震災を経験した今この時に特出したのが防災面での働きです。万が一の時の安全を確保できる数少ない避難場所ではないでしょうか。

この様に、数多くの働きがあり、私達の生活と深い関わりのある鎮守の森ですが、多くの問題も抱えています。経済優先の時代の流れから、大径木の伐採や、森近くまでの開発が迫り、または削り取られ、豊かな植生が崩れてきている場合も多くあります。あまりにも小さくなった森は、ともに異常気象などの環境の荒波を受けている状態です。

今を生きる私達は、先人達が代々受け継いできたこの鎮守の森を未来の人達に受け渡す義務があります。鎮守の森は、信仰の対象だけではなく、とても身近に残された大切な自然遺産なのです。今それを考えなければならぬ時です。

きのこ・山菜に関するモニタリング調査の実施状況

■県北農林事務所

林業普及指導員 佐藤 秀樹

【はじめに】

きのこ・山菜等の緊急時モニタリング調査は、原子力施設の事故等緊急時における食品の放射性汚染に関する防災指針や緊急時モニタリング指針に基づき、国・県が実施しているもので、事務所においては、試料の収集や調査結果に基づく生産指導等を行っています。

調査は、ヨウ素、セシウムを放射能測定マニュアルに基づいて測定し、暫定基準値（放射性ヨウ素は2,000Bq/kg、放射性セシウムは500Bq/kg）を超えたものについて、安全性を考慮し、国・県が摂取や出荷等の制限を行っているところです。

県北管内においても、原子力発電所の事故以降6月はじめまでに、きのこ・山菜81点についてモニタリング調査を実施しました。

【モニタリング調査の実施手順】

モニタリング調査の手順は、表のとおりで、事務所は、試料提供者の調整、試料収集、農業総合センターへの搬入、また、データーの公表に基づいた出荷制限等の指導、直売所等の販売指導を行っています。

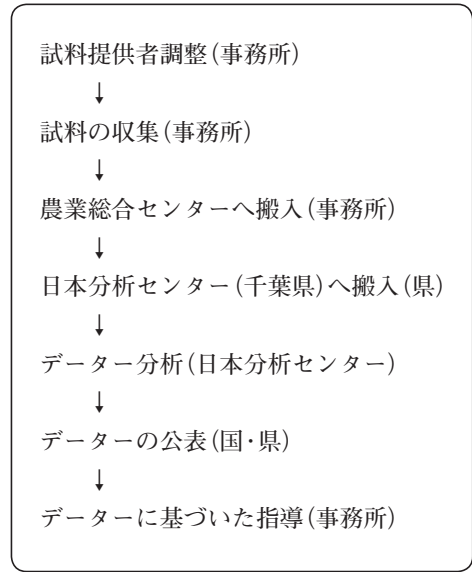
なお、当モニタリング調査の分析機関は、日本分析センター（千葉県）で、ゲルマニウム半導体検出器を用いて分析を行っています。よく、たけのこはどのようにして検査しているのか質問を受けますが、通常食べる状態で検査することとしていることから皮をむいて水洗いをしたものを検査しています。

【モニタリング調査の結果】

県北管内では、施設栽培のきのこ、露地栽培のわらび、たらの芽、うど、ふき、こしあぶら、ねまがりたけについては基準値以内となっています。一方、露地栽培の原木しいたけは、福島市、伊達市、本宮市、川俣町で、くさそてつ（こごみ）は福島市、桑折町で、たけのこは伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町でセシウムが基準値を超える値も出ていることから、安全を考慮し出荷制限となっています。（平成23年6月6日現在）これらの産品については、収穫が可能な範囲で継続して調査を行い、データーの推移を確認しているところです。

【普及指導の取り組み状況】

きのこ生産者への参考資料の配布や、生産者集会等での情報提供、生産・販売における留意点等の指導を行っています。また、直売所、スーパー等へ出荷制限状況をお知らせするとともに、巡回指導等により安全な商品の提供に努めています。県産きのこ・山菜等の安全・安心に関する信頼性の確保について皆様方の御協力をお願いいたします。



原木しいたけ収集状況



出荷制限に関するリーフレット



市場指導状況



生産者への説明状況

木材市況

素材の価格 〈工場着価格〉 (3月15日現在)

(単位: m³当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	9 (8~10)	0	9 (9~9)	0	10 (10~10)	2	9 (8~10)	1
		10~13		並	スギ	13 (12~14)	0	9 (8~9)	0	12 (12~12)	2	11 (8~14)	0
	中	14~18	3.00	並	スギ	15 (14~17)	0	11 (11~12)	0	12 (11~13)	△1	13 (11~17)	0
				並	ヒノキ	24 (23~25)	0	(0~0)	-	16 (14~18)	△2	21 (14~25)	0
		6.00	並	スギ	20 (17~23)	0	18 (18~18)	0	16 (15~16)	△1	18 (15~23)	0	
			並	ヒノキ	24 (24~24)	0	(0~0)	-	22 (18~26)	△1	23 (18~26)	0	
	20~28	3.65	並	スギ	14 (13~14)	0	12 (11~13)	0	13 (12~14)	0	13 (11~14)	0	
		4.00	並	アカマツ	11 (9~13)	0	10 (10~10)	0	10 (10~10)	△1	10 (9~13)	△1	
		1.80	並		8 (6~10)	0	(0~0)	-	8 (8~8)	0	8 (6~10)	0	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	23 (23~23)	0	(0~0)	-	25 (25~25)	1	24 (23~25)	0
並				米マツ	25 (23~28)	0	26 (26~26)	0	25 (25~25)	0	25 (23~28)	0	
28以下		4.00	並	エゾマツ	(0~0)	-	(0~0)	-	22 (22~22)	△2	22 (22~22)	△2	
			並	ベニマツ	27 (27~27)	0	22 (22~22)	0	23 (23~23)	0	24 (22~27)	0	
70~90		8~14	並	ラワン	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	
			並	アガチス	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	
パルプ用材	-	-	並	マツ	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	
			並	広葉樹	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)	-	9 (8~9)	0
	13~14		並	カラマツ	(0~0)	-	8 (7~9)	0
	16以上		並	カラマツ	(0~0)	-	11 (10~11)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを、*印は前月実績がなかったことを示す。
 2. ()内は各地域の価格幅、()外は各地域の平均的価格を示す。
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。

二月の原木市場への入荷状況は、前月比二三割減(前年比二九割増)の二四、六一八立方メートルとなつていて、販売量については、前月比一四割減(前年比二四割増)の二四、三九二立方メートルとなつていて、昨年からの素材価格の上昇により、前年を上回る入荷・販売量を維持している。三月の価格については、震災の影響により三月十五日現在の入荷実績が出せない工場もあり、価格への影響は十分に把握できていないが、概ね保合である。



写真1 震災直後の職場



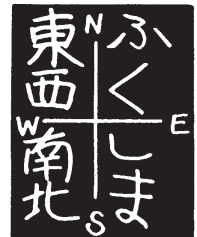
写真2 薄磯海岸の被災状況



写真3 磐城林業協同組合による行方不明者捜索

東日本大震災。大地震に大津波。一〇〇〇年に一度の大災害を自分が経験することとなった。いわき市では、震度六弱の地震が発生、職場はロッカーが倒れ、書類や事務機器が散乱した。(写真1) 幸いにも職員とその家族への人的な被害はなかったが、市内は全域で停電し、水道の断水は一ヶ月も続いた。震災後一週間は電話も使えず連絡の手段が無くなった。今回の被害は、地震よりも津波の影響が大きく、海岸には目を覆わずにはいられない惨状があった。(写真2) あまりの被害の大きさを目の前にして、自分は、今、何をすべきなのか、何が出来るのかを悩んだ。さらに、福島原発で爆発事故が発生した。正確な情報がなく、デマにも踊らされた。住民は目に見えない放射能を恐れ、主要道路は、原発からより遠くへ避難する車で渋滞し、市内から住民の姿が消えた。残った住民も窓を閉め、テレビの情報に注視していた。生活物資を運搬する

ドライブは、被爆を恐れ市の手前で引き返した。市内から、食料、生活物資、ガソリンなど全ての物資が消えた。職員(林業人)は、市内の雰囲気は異様な状態となつても登庁し続け、被害状況の調査にあたり、体調の悪い避難者の病院搬送、避難所への物資運搬、放射能の測定などを全面的に支援した。また、所内には職員の食料を確保するため、生活支援班を立ち上げ、職場で炊きだしをしながら二四時間体制で対応した。震災から一週間が経過しても地鳴りや余震が続き、さらに、原発事故で復旧までの見通しが立たなくなつた。誰もがあせりといらだちを感じ始めていた。そこに救世主が出現した。磐城林業協同組合(林業人)から海岸の行方不明者を探したいと申し出があった。森林を相手にしている林業人は、人間にも優しい。放射能も恐れず、高性能林業機械で行方不明者を懸命に捜索する姿には感動した。(写真3) 林業人には人と思う優しさがあり、そこから人と人の絆が生まれ、大震災に立ち向かう力強さとなる。必ず復興できる。確信した。



復旧復興に立ち向かう林業人

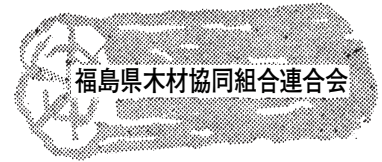
元いわき農林事務所森林林業部 副部長 渡部 茂

団体のページ

木連だより

平成22年素材需給統計

— 5月20日農林水産省より
公表される—



一、素材の需要量

(一) 全国

平成二二年の素材(丸太)の需要量は、二、三三二万四、〇〇〇立方メートルで住宅需要がやや回復したことなどにより、二年連続の大幅な減少となった前年に比べて、九二万一、〇〇〇立方メートル(四・〇割)増加した。

これを需要部門別にみると、製材用は一、五七六万二、〇〇〇立方メートル、合板用は三八一万一、〇〇〇立方メートルで前年に比べてそれぞれ四八万三、〇〇〇立方メートル(三・二割)、七〇万四、〇〇〇立方メートル(二二・七割)の増加で、特に合板用は原料の国産化が急速に進んだことが大きく反映され過去最高になった。

(二) 福島県

平成二二年の素材需要量は八〇万立方メートルで前年に比べて一万二、〇〇〇立方メートル(一・五割)の増加となった。国産・外材別にみると、国産材は

六九万七、〇〇〇立方メートルで前年に比べて二万立方メートル(三・〇割)の増加、外材は一〇万三、〇〇〇立方メートルで前年に比べて八、〇〇〇立方メートル(七・二割)の減少となった。(表一)

二、国産材の素材生産量

(一) 全国

国産材の供給量を樹種別にみると、針葉樹は一、四七八万九、〇〇〇立方メートルで、主に合板用の生産量が増加したことから、前年に比べて八一万三、〇〇〇立方メートル(五・八割)増加した。特にスギでは前年に比べ七八万六、〇〇〇立方メートル(九・五割)、カラマツで同六万二、〇〇〇立方メートル(三・二割)の増加が目立った。

また、広葉樹は、二四〇万四、〇〇〇立方メートルで、主に木材チップ用の生産量が減少したことから、前年に比べて二二万九、〇〇〇立方メートル(九・〇割)減少した。

(二) 福島県

県内の素材生産量は七一万一、〇〇〇立方メートルと、前年に比べ二万五、〇〇〇立方メートル(三・四割)の減少となった。これを樹種別にみるとヒノキが前年に比べ五、〇〇〇立方メートル(二一・八割)、カラマツで一万五、〇〇〇立方メートル(二三・四割)と大

幅に増加したが、マツ、スギの減少により針葉樹全体では前年に比べほぼ横ばいであった。

また、広葉樹は、一五万九、〇〇〇立方メートルで前年に比べ二万四、〇〇〇立方メートル(二三・一割)の減少となった。(表二)

表一 需要部門別、材種別素材供給量 単位：千m³

区分	計	国産材				外材						
		小計	針葉樹	広葉樹	小計	南洋材		米材	北洋材	ニューラド材 ニジンド材	その他	
						ラワン材						
全国	計	23,724	17,193	14,789	2,404	6,531	526	349	4,013	978	858	156
	製材用	15,762	10,582	10,454	128	5,180	101	7	3,581	545	814	139
	合板用	3,811	2,490	2,476	14	1,321	424	341	412	431	44	10
	木材チップ用	4,151	4,121	1,859	2,262	30	1	1	20	2	×	7
福島県	計	800	697	548	149	103	1	-	82	7	0	13
	製材用	568	465	463	2	103	1	-	82	7	0	13
	木材チップ用	232	232	85	147	-	-	-	-	-	-	-

表二 国産材の樹種別素材生産量 単位：千m³

都道府県	計	針葉樹							広葉樹
		小計	あかまつくろまつ	すぎ	ひのき	からまつ	えぞまつとどまつ	その他	
全国	17,193	14,789	689	9,049	2,029	1,985	836	201	2,404
福島県	711	552	66	402	44	26	-	14	159

森連だより

第60回通常総会
開催される



本会の第六〇回通常総会は、去る五月二七日福島市杉妻会館において開催されました。
國井常夫代表理事会長の挨拶に続いて系統利用優良組合・永年勤続役員職員の表彰と本会退任役員へ感謝状の贈呈が行われました。
議長には、清野邦夫西会津町森林組合代表理事組合長が選出され、議事に入りました。

二二年度の決算では様々な課題を抱えつつも、事業量の確保拡大を図るとともに、経費の節減に懸命な努力の結果、剰余金を計上することができ、満場一致で議案が承認されました。
二三年度の事業計画については、東日本大震災による



り森林・林業情勢の先行き不透明感が漂っているが、二二年度を初年度として「第三次経営改善三ヶ年計画」と政府が一〇年後の木材の自給率五〇％以上を目標とした「森林・林業の再生に向けた改革の姿」の中で木材生産と公益機能の発揮と両立させる経営計画を目指すこととなった。

また、昨年一〇月に開催された「第七回全国森林組合大会」では施業集約化と国産材安定供給体制づくりを最優先課題として取り組んでいくことが議決された。連合会としては、このような状況を踏まえ昨年作成した経営改善計画を見直すこととし、加えて東日本大震災の災害復興に欠かせない木材を安定的に供給する体制づくりを目指すこととした。

このため、「第三次経営計画」を改訂し、役員一丸となって、経営財務収支の改善に努めることとした事業計画が承認されました。

各部門の事業計画は次のとおりです。

◎指導部門

- ① 国産材の利用拡大と森林・林業再生運動3rdステージ
- ② 福島県森林組合連合会経営改善計画の推進
- ③ 森林組合広域合併の推進

- ④ 森林組合事業拡大の支援推進
- ⑤ 森林環境税を財源とする森林づくりの推進
- ⑥ 森林整備担い手対策基金事業の推進
- ⑦ 指導監査の実施と事後指導の実施
- ⑧ 緑の雇用現場技能者育成事業の取りまとめ、指導
- ⑨ 施業集約化事業の推進
- ⑩ 福島県ふるさと雇用再生特別基金事業による人材の育成

◎販売部門

- ① いわき木材流通センター、会津共販取扱量の拡大及び「会津共販所検討プロジェクトチーム」の設置
- ② 間伐材の有効利用と販売体制の強化
- ③ パルプ材、しいたけ原木の系統販売の強化
- ④ 合板材等の直送化の推進
- ⑤ 森林組合木製品、林産物の販売拡大
- ⑥ 異業種との連携強化

◎森林整備部門

- ① 森林調査、治山・林業専用道等の業務の拡大
- ② 木製品の活用など環境整備事業にかかるとの系統事業の拡大
- ③ 森林調査・森林コンサル等広範な事業の確保
- ④ 森林境界明確化促進事業の推進職員の資格取得と森林組合支援体制づくり
- ⑤ 森林国営保険の加入促進と損害調査の迅速化
- ⑥ 各種保険の加入促進

◇購買◇

- ① 優良苗木の確保
- ② 林業用資材、機械、森林病虫害防除用資材の取扱拡大及びデジタルコンパス森林施業関係ソフトの販売
- ③ 生活関連物資の取扱拡大
- ④ 高性能林業機械の販売・リース事業の提案

- ◇金融◇
 - ① 森林組合事業資金の確保と貸付
 - ② 制度資金の普及と貸付業務の迅速化
 続いて、監事の辞任に伴う役員補選が行われ、次の一名が選任されました。
 監事 相良 弘(飯館村森林組合長)

表彰者名簿

平成二二年度系統利用優良組合

- 販売部門 いわき市森林組合
- 購買部門 会津北部森林組合
- 森林保険部門 福島県北森林組合

◎感謝状贈呈

- 矢吹 良美

◎功労者表彰

- 永年勤続役員(勤続二年以上)
 - 佐々木雄一・上川 勇吉・齋藤 雅・高田 武・大橋 芳啓(福島県北森林組合)
- 永年勤続職員(勤続三〇年以上)
 - 我妻 一嘉(ふくしま中央森林組合)青木 喜章・小松 一利(会津若松地方森林組合)

- 松崎 正信・草野 岸夫(いわき市森林組合) 宍戸 利美(福島県森林組合連合会)
- 永年勤続職員(勤続二〇年以上)
 - 菅野 敦司(福島県北森林組合) 鈴木 清人・金内ツヤ子(ふくしま中央森林組合)

- 渡辺 直(田村森林組合) 水野谷 和聖(西白河地方森林組合) 遠藤 勇次・大堀 俊一(会津若松地方森林組合) 草野 宏(いわき市森林組合) 藤野智恵子(福島県森林組合連合会)
- 永年勤続技術班員(勤続五年以上)
 - 矢吹健太郎・保住 忠久・佐藤 好(福島県北森林組合) 堀越 司(田村森林組合) 大平 良一(西白河地方森林組合)

- 菊地 進・小島 勝利・鈴木 恭子・猪俣 信男(会津若松地方森林組合) 井戸川 弘・飯部 治正・志賀 利直・馳川 豊(相馬地方森林組合)

団体のページ

林協ニュース

第41回通常総会を開催

当協会の第四一回通常総会は、当初五月二五日に、福島市で例年どおりの開催を予定していた。

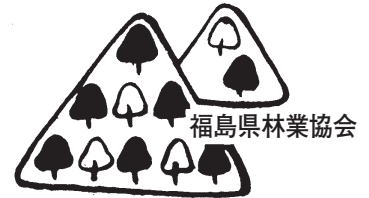
しかし、三月一日に発生した東日本大震災、福島第一原子力発電所の事故、相次ぐ余震などに係る昨今の状況から、通常時のように福島市において会員全員の参加を求めて総会を開催することは困難と判断した。

このようなことから、今回の総会は役員の方々のみで開催し、一般会員の方々には書面をもって表決する、または会長を代理人として表決を委任する、という方法をとることとした。

総会は、五月二五日後一時より、福島市のウエディング エルティで、役員一八名が出席して開催された。

会員総数三六三名、出席者一八名、書面議決書提出者一八〇名、委任状提出者四三名で過半数に達し、規程により総会は成立した。

まず、浅和定次会長が「このような通常とは違った形での総会となったことは申し訳なく思う。今後とも厳



しい状況にあるが、計画に沿って積極的に業務を進めていくので、ご協力をお願いしたい」とあいさつをした。

ついで、菊池基文埴町長を議長に選び、議事では

議案第一号 平成二二年度収支補正予算専決処分の承認について

議案第二号 平成二二年度事業報告並びに収支決算の承認について

議案第三号 平成二三年度事業計画並びに正味財産増減予算(案)について

議案第四号 平成二三年度会費の納入(案)について

が審議され、それぞれ可決された。

なお、例年行っていた優良森林土木工事等の表彰は見合わせることにした。

また、副会長には、津金要雄猪苗代町長に代わって、佐藤正博西郷村長(県町村会長)が就任した。

「2011 一語一絵 みどりの文」を募集しております。

(社)福島県造園建設業協会

応募規定

応募作品には住所・氏名・年齢・職業を明記して下さい。葉書でのご応募は宛名面にご記入下さい。ホームページからの受付もいたします。(手紙部門のみ)専用フォームから応募して下さい。URL <http://yoiniwa.net> 点字での応募も可能です。

- 手紙部門：600字以内で様式は自由 テーマ(例)私と庭・自然の緑・ふるさとへの思い・思い出の公園
- 絵手紙部門：スケッチ画も可 郵便葉書で応募して下さい。

応募資格

どなたでも応募できます。

応募期間

5月28日(土)～8月28日(日)
(当日消印有効)

賞品

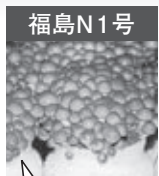
最優秀賞(各部門1名)
優秀賞(各部門3名)
郵便事業(株)福島支店長賞(各部門1名)
受賞者には賞状と副賞を贈呈

応募先

〒960-1107 福島市上島渡字井戸尻11-3
社団法人福島県造園建設業協会
TEL 024 (593) 0039

きのこで地域を元気に (財)福島県きのこ振興センター

●菌床栽培用ナメコ(登録品種)



安定多収量



大型・滑り少

●原木栽培用ナメコ(登録品種)



コナラ原木で安定・多収量
食物繊維、ペクチン様物質豊富



- その他各種種菌
- 菌床
 - ・シイタケ
 - ・ハタケシメジ
 - ・ムラサキシメジ等
- マイタケホダ木
- 栽培資材

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂7-2 Tel 024-947-2188 Fax 024-947-6926
E-mail: f-kinoko@mtj.biglobe.ne.jp URL: <http://www.f-kinoko.org>



原発事故の早期収束を願って

六月の空にカッコウが鳴き始める頃、田植が済んだ田圃は緑の平原に変わる。六月に旧暦で行われた端午の節句には鯉幟や鐘馗の絵幟を立て、子供の健やかな成長を願った。

昔の田植は今より約一ヶ月程遅く、早朝に冷たい苗代で早苗を取り、朝食が済むと家族や結手間取りなどにより約一ヶ月間続き、田植は農村の一大イベントだった。

カッコウの声を聞きながら田植をし、畔道で昼食をとるのが子供の頃の農村の風景だったが、近年は田植機の普及により少人数での田植が主流で昔の面影は無い。

カッコウはホトトギス科の鳥で、他の鳥の巣に産卵して自分で育てないと言われている。安積開拓で有名な郡山市の鳥はカッコウで、毎年、同じ日に同じ場所で棲息調査が行われているが、宅地化などによる水田の減少で棲息数が激減しているといわれている。

ところで、三月二日に発生した大震災から二ヶ月が過ぎた。岩手県と宮城県では瓦礫の処理が始まったが、原発事故を抱える本県は難問が続出し、関係者の苦悩が続いている。

今回の原発事故は未曾有の地震によるものだが、人災との見方が圧倒的だ。その理由は地震後の対応の稚拙さと、危険と指摘され続けた原発問題への対策の甘さにあり、本県は前知事時代から、原発立地県として国と東電に改善を強く求め続けてきたが前進はなかった。

原子力政策の問題点は、国策として電源を水力や火力から原発に軸足を移し、政・官・財界が地震大日本列島にコスト優先で原発政策を推進した結果、競争原理の働かない巨大な独占企業が育ち、事故発生後の対応でも当事者意識に欠けた態度が見え隠れしている。

一六年前、当時の原子力資料情報室代表の故・高木仁三郎氏が「想定外」と言う姿勢に警鐘を鳴らし続け、その中で福島原発の耐震設計や老朽化、活断層等の問題点を指摘したにもかかわらず、一研究者の論文として無視し、適切な対応を怠った傲慢さと、防げたはずの事故に遭った事を悔しく思っている。国が目指す復旧・復興には党利・党略を捨て、英知を出し合い、国難と言われている事故の一刻も早い収束に向け努力すべきと思っている。

佐藤微風

表紙の写真



間伐材の運搬

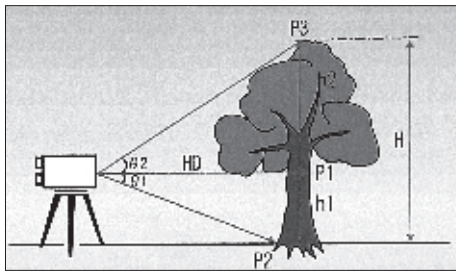
第7回ふくしま森林・林業写真コンクールで入選となった田崎栄一さん(柳津町)の作品。

編集

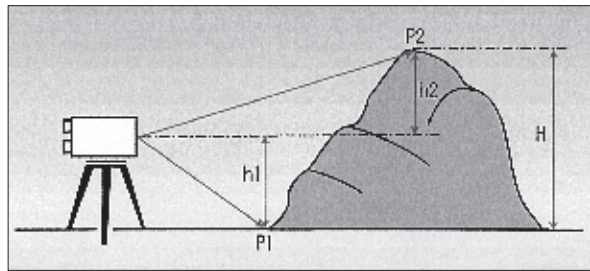
福島県内四森林管理署
福島県林業協会
福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県緑化推進委員会
福島県農林種苗農業協同組合
福島県林業公社
森林総合研究所福島水源林整備事務所
福島県林業協会(福島市中町五番一八号) 協同組合
発行人 陽光社印刷株式会社
発行 渡辺卓
(定価 六三円)

高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

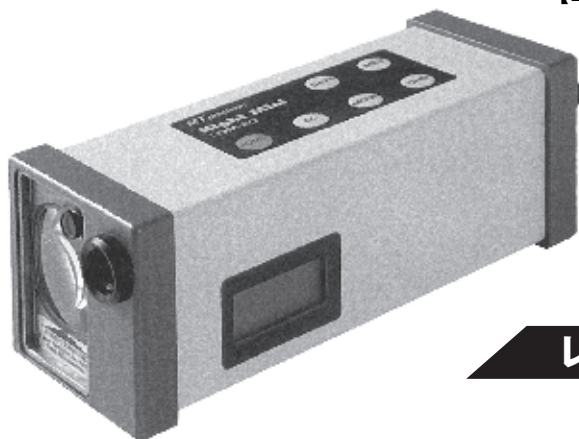


2. 堆積物等の山なり形状の場合



【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



LDM-20

レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



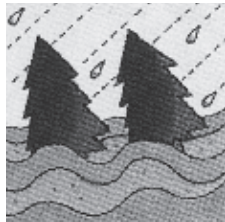
1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



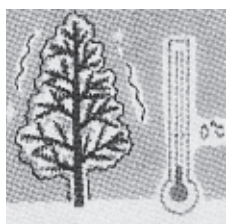
4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

- ◆ 県内各森林組合
- ◆ 福島県森林組合連合会

又は 県庁森林整備課
TEL 024-521-7430

イワフジのプロセッサ

GP-45V グラップルプロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を追求したプロセッサ

- 高耐久性を追求したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor
MODEL : GP- 45V

イワフジ工業株式会社

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒969-1149 福島県本宮市本宮万世11-7
TEL 0243-34-5440 FAX 0243-34-5442

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・スイングャーダシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!



豊かな緑を次代へ

自然との調和

私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。

皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

野生動物から大切な植栽木を守る

ツリーセーブ
ヤシマレント

盗みされ防止

ハチノックL (網隠し)
ハチノックS (携帯用)

**大切な日本の松を守る
ヤシマの林業薬剤**

ヤシマスマイバイン乳剤
ヤシマスマイバインMC
グリーンガードエイト
パークサイドF
ヤシマNCS
モリエートSC
マツグリーン液剤2

くん蒸用生分解性シート

ちゆらシート (茶・白)
NCSシート (透明)
与作シート (茶・白)
(折りたたみ式
専用キャリアバック使用)



ヤシマ産業株式会社

本社 〒104-0045 東京都中央区築地1丁目9-6 アロア築地ビル2F
東北営業所 〒981-3133 仙台市泉区泉中央3-10-3-202

TEL.03-5565-3161(代) FAX.03-5565-3164
TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

機器はゼノアから

排気量 **18.3cm³**
世界最小・最軽量、2.2kgの手のひらサイズ



G2000T 

20cm(8インチ)・SP ¥66,675(税込)
20cm(8インチ)・CV ¥72,765(税込)

排気量 **40.1cm³**
さまざまな用途に対応、本格プロ仕様シリーズ



G4211EZ 

40cm(16インチ)・SP ¥135,660(税込)
45cm(18インチ)・SP ¥137,865(税込)
40cm(16インチ)・H ¥135,660(税込)
45cm(18インチ)・H ¥137,865(税込)

使いやすさを
追求したハンドルと
思いのアクセルワークが
可能なトリガーレバー。



BC2711DW1-EZ

- ・防振ハンドルブラケット
- ・トリガーレバータイプ

チップソー ¥79,380(税込)
笹刈刃 ¥78,330(税込)

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店

(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1